

伊賀の産廃認可延長

反対請願を採択

環境委員
生活環境常任
生森

県議会生活環境森林常任委員会（前野和美委員長、八人）は四日開き、上程中の環境森林部の補正予算案の認可を審議。同補正予算案を全会一致で承認するとともに、同請願も全会一致で採択を決めた。

を求めるとについて」との題名で、伊賀市自治会連合会長名で提出され、同日受理された。紹介議員は森野真治（新政みえ）、二期、伊賀市選出）、岩田隆嘉（自民みらい）、三期、同）、吉川実（同、同、同）の三

民の側に立つべき」などの意見の下、同請願を後押しする委員が多かったが、環境森林部の岡本道物理事は「住民の思いは分かるが、法に則って厳正に対処していく」と、行政側の筋を通した。採否を諮ったところ、全会一致で採択となった。

が示されたほか、RDF（ごみ固形燃料）焼却や発電事業の経過報告があった。RDF事業では、関係市町でつくる運営協議会理事会の八月二十七日会合での確認事項、同事業が期限の平成二十九年度から延長された場合でも、三十二年度までの四力年度とする点などが、あらためて報告された。